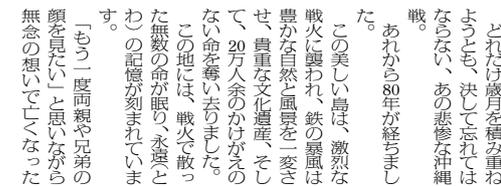






# 戦後80年 — 玉城デニー知事による

## 沖縄平和宣言



戦後80年 沖縄全戦没者追悼式

これら80年が経ちました。美しい島は、激しい戦いに襲われ、鉄の嵐は豊かな自然と風景を一変させ、貴重な文化遺産、そして20万人余のかけがえのない命奪い去りました。この地には、戦火で散った無数の命、涙、希望と、このあまのこに遺された戦いの記憶が刻まれています。もう一度両親や兄弟の顔を見て、と思いながら無念の想いで、くたがな

これは今年6月23日に沖縄で開催された「戦後80年沖縄全戦没者追悼式」で、沖縄県玉城デニー知事から宣せられた平和宣言です。ここでは「戦後80年」の沖縄そして日本と全ての世界に向けられた平和への固い誓いが述べられている。その全文をお伝えする。

# 沖縄の地から世界へ!! 恒久平和への道を発信

## 国際平和研究機構の創設 / 沖縄戦遺跡群の保存・活用 / 核軍縮及び核兵器廃絶

戦の実相と教訓を、畏れ一丸となった断続の努力によって、世を起す努力に伝え続けていく。それは、いま生きている私たちの使命ではないでしょうか。

願っています。私は、この小さな沖縄から、不条理な現状を打破せよ、そして世界の恒久平和のため、何ができるのか、真剣に考え、国際社会と協働しながら、たまたまの力で行動していきたくと考えています。

どれだけの歳月を積み重ねようとも、決して忘れてはならない、あの悲惨な沖縄戦。あれから80年が経ちました。この美しい島は、激しい戦いに襲われ、鉄の嵐は豊かな自然と風景を一変させ、貴重な文化遺産、そして20万人余のかけがえのない命奪い去りました。この地には、戦火で散った無数の命、涙、希望と、このあまのこに遺された戦いの記憶が刻まれています。もう一度両親や兄弟の顔を見て、と思いながら無念の想いで、くたがな

# 日本政府は核兵器禁止条約に署名・批准を!

1945年8月6日広島、9日長崎への原爆投下で数十万人が被爆し、その年の死者は約21万人。生き残った被爆者たちは、戦後80年、孤独・病苦・生活苦、偏見と差別に堪え続けました。核兵器禁止条約の署名・批准、すなわち拒否している。

核兵器は人類と共存できない、共存させてはならない! 核兵器も戦争もない世界を! 日本政府に、核禁条約の署名・批准を求め行動しよう!

日本でも同月23日、日本被団と原水爆禁止日本協議会・日本原水爆、原水爆禁止・国民会議・原水爆禁止・国民会議・原水爆禁止・国民会議が被爆80年を迎えるにあたり、核兵器禁止条約に向けた国民的決意を呼びかけた。また、「核の時代は終わる」という一瞬でもの影を落すのは、核兵器禁止条約の署名・批准を求め行動しよう!

この戦後80年、国際平和研究機構の創設に向けた取組を進めます。沖縄戦の歴史的事実に資する研究や国際平和の構築に資する研究の推進に向け、研究体制を整備してまいります。

私は、戦後80年の大きな節目を迎え、戦後90年、100年を見据えた長期的な視点で、平和の恒久な実現に向け、沖縄が果たすべき役割を、いまこに掲げ、世界に向け発信します。



8月の市民行動

- 8月11日(月)・休
- 8月14日(木) 戦後80年平和記念講演 14時~16時 福岡4F 出席者: 服部太郎 / 記念講演: 福岡県連合会副会長 田中玉吉、落語家 八住 春雄、落語家 関西ガザ
- 8月15日(金) 天皇出席の全国戦没者追悼式 8:15 大阪東区 13時半開始、14時開始 於: エルおおさか70 1号室 DVD 忘れられた量 (大塚博隆) 上演 講演: 戦後80年、忘れられた量 (大塚博隆) 上演 講演: 戦後80年、忘れられた量 (大塚博隆) 上演
- 8月23日(土) 在日朝鮮人と朝鮮語 慶尚道は朝鮮半島の諸方言 (15時~17時) 主催: 関西ガザ 緊急アクション

# 「戦後80年」—いまこそ本当の平和を!

日米両政府は沖縄「軍事植民地」のように扱うことを終わりにすべき時。大軍拡に反対し、戦争はイヤだと声をあげよう!

沖縄意見広告運動は、今年も活動の節目とする記録集「沖縄意見広告16年の歩み」(仮称)の発行を企画しています。詳細は同封のチラシをご覧ください。

沖縄意見広告運動は、今年も活動の節目とする記録集「沖縄意見広告16年の歩み」(仮称)の発行を企画しています。詳細は同封のチラシをご覧ください。

沖縄意見広告運動からのお知らせ — 要旨

戦後80年特別広告を「フジテレビ」紙に掲載しました。原寸大広告の送付を、この報告と記録集発行のご案内に併せてお送りいたします。

沖縄意見広告運動からのお知らせ — 要旨

戦後80年特別広告を「フジテレビ」紙に掲載しました。原寸大広告の送付を、この報告と記録集発行のご案内に併せてお送りいたします。

8月の市民行動

- 8月11日(月)・休
- 8月14日(木) 戦後80年平和記念講演 14時~16時 福岡4F 出席者: 服部太郎 / 記念講演: 福岡県連合会副会長 田中玉吉、落語家 八住 春雄、落語家 関西ガザ
- 8月15日(金) 天皇出席の全国戦没者追悼式 8:15 大阪東区 13時半開始、14時開始 於: エルおおさか70 1号室 DVD 忘れられた量 (大塚博隆) 上演 講演: 戦後80年、忘れられた量 (大塚博隆) 上演 講演: 戦後80年、忘れられた量 (大塚博隆) 上演
- 8月23日(土) 在日朝鮮人と朝鮮語 慶尚道は朝鮮半島の諸方言 (15時~17時) 主催: 関西ガザ 緊急アクション

# もう二度と沖縄を、本土を、戦場にさせない!

この広告は、琉球新報、沖縄タイムス、東京新聞に掲載されています。意見広告



**「戦後80年」**  
 いまこそ本土の平和を、

沖縄が終戦して80年が経ち、日本を戦場から解放して、本土に平和が戻った。しかし、沖縄は依然として戦場のまま。沖縄の平和を、本土の平和に引き継ぐ。沖縄の平和を、本土の平和に引き継ぐ。沖縄の平和を、本土の平和に引き継ぐ。

沖縄の平和を、本土の平和に引き継ぐ。沖縄の平和を、本土の平和に引き継ぐ。沖縄の平和を、本土の平和に引き継ぐ。



**米兵の性暴力・犯罪を許さない**  
 米軍に特権を保障する  
 日米地位協定改定を急げ!  
 これは国民みんなの問題です。

## 軍事力で平和はつぐれない。戦争回避の対話と外交努力を!

**1 世界一危険な軍基地を、1日も早く閉鎖せよ。**  
 沖縄の平和を脅かす最大の要因は、米軍基地の存在です。特に、普天間飛行場の移設先である、海兵隊いしごい1日も早く閉鎖せよ。

**2 私たちの税金で命を捨てるな!**  
 沖縄の平和維持に、日本は莫大の税金を投入している。しかし、その多くは米軍基地の維持に使われている。私たちの税金で、命を捨てるな!

**3 ミサイルとロケットが沖縄に米軍・自衛隊一体の重要拠点を築く「2の米のあり方」を問う**  
 その根にある日米安全保障協定の改定を、我々が問う。

**英古・八重山諸島と奄美群島の島々を台湾有事の攻撃点にするため、全住民12万人の避難計画が内閣府で急ピッチに進んでいる。**  
 台湾有事の発生を想定し、英古・八重山諸島と奄美群島の島々を攻撃点とするため、全住民12万人の避難計画が内閣府で急ピッチに進んでいる。



【普天間閉鎖、辺野古めぐる、海兵隊いしごい】  
 戦後80年特別広告  
 沖縄意見広告運動

〒909-0001 東京都中央区新富町1-9-14-207  
 連絡先  
 Tel: 03-3356-6722 Fax: 03-3330-0021  
 E-mail: im@okinawaken.org

賛同者総数 **15,847名**  
 公 表 可 **11,178名**  
 匿名希望 **4,669名**

米・フジテレビ「電子版に意見広告掲載中」

6月22日より1ヶ月、全紙に同時掲載  
 米紙版に意見広告掲載中

5/22/2023

この広告は、琉球新報、沖縄タイムス、東京新聞に掲載されています。意見広告





コモンス論壇 '25

# 都市コモンズを生きる

「連載③」 齊藤日出治  
(大阪労働学校アソシエ学長)

「市場」と「国家」を超越する「コモンズ」の創出

※前号より続き

これに対して、これら都市において立ち現れている無数のコモンズは外に開かれていく。生政治的生産において立ち現れているのは、外に開かれたひとびとの協働として組織される（注）で

## 3. 都市コモンズを生きる個体

都市の住民が日常生活の営みにおいて直接（共）を生産し協働する世界においては、人びとが私益を追求するためにも、（共）を自己の内部にとりこみ（私）を基礎として自己形成を遂げる必要に迫られる。

労働力商品を販売する労働者は、自己の身体がはらむ精神的・肉体的な力をできるかぎり高めようとする。そのため、賃金労働者は、企業家と同様に、自己の身体にできるかぎりの投資をしてその価値の増殖を図る。高等教育機関や技術研究機関を利用し、卒業後も生涯教育を追求して、自己啓蒙に努める労働者の身体はそれ自身が資本にほかならないという労働資本論が、このような労働

ある。遺伝情報や諸種の文化的コモンズやデータベースから言語・音楽・社会の諸慣行にいたるまで、万人に開かれた共有資源が、日常的に人びとの協働を通じて生産され、蓄積されている。協働が外に開かれていくからこそ、自由に自立した社会的生の形態が豊かに開花する。

「資本主義経済の内外で、生産的な社会的協働の開かれた拡張的なネットワーク」が組織され、そのネットワークが「自由かつ

力商品の販売者の生き方を書き換えて、都市コモンズを生きる主体となる。だが、労働者が自己の身体にふくまれる価値を高めるためには、個人的な自己の能力向上の努力に依拠するだけでは不十分である。

力商品の販売者の生き方を書き換えて、都市コモンズを生きる主体となる。だが、労働者が自己の身体にふくまれる価値を高めるためには、個人的な自己の能力向上の努力に依拠するだけでは不十分である。

## クリエティブ都市を私益の源泉として生きる個人

R・フロリダ「クリエティブ都市論」(2008)は、都市の発展が人々の集合力によって培われる創造性に基盤を置くという都市論を説く書である。同時に、個人が幸福な人生を送るためにはそのようなクリエティブ都市とかかわることが不可欠の条件だということを書いた。

自立的な生の諸形態を生み出すための強力な士（注）（同書80〜81頁、194頁）とよんで、

「フロリダはJ・ジェイクソンの都市理論を援用して、都市は複雑で自己組織する生態系（同書83頁）だと言っている。生態系を発展させることが、

「都市コモンズは、私的個人にとってたんなる外的な環境ではなく、個人の生き方や身体と不可分に結びついたエレメント内の環境となる。資本が自己の外部に自立して発展する都市コモンズを捕獲するプロセス、個人が私益の追求のための内的環境として都市コモンズを生きることは、コモンズを私的に領有する同じ道程を語るが、

「都市コモンズを生きる個人」として生きる個人。コモンズを私益の糧とするような生き方に対して、資本の外部に開かれたかたちで生成する都市コモンズを人びとの共同の統治に向けて生きる個体も出現する。それは、生政治的生産の動態を近代の市民的交通形態のうちに回収してしまう前者の動きと決別し、近代市民社会を生きた政治社会へと転換する道程を指す。

## 都市コモンズを育てる社会的個体

コモンズを私益の糧とするような生き方に対して、資本の外部に開かれたかたちで生成する都市コモンズを人びとの共同の統治に向けて生きる個体も出現する。それは、生政治的生産の動態を近代の市民的交通形態のうちに回収してしまう前者の動きと決別し、近代市民社会を生きた政治社会へと転換する道程を指す。それは同時に、私的個体を脱する新しい社会的個体の誕生を意味する。その一例を、岸本聡子「私がかんたコン」と民主主義」に読むことができる。岸本は自分が生きかたを生を振り返ることを通して、自己の個体的な生が都市コモンズと不可分につながり、都市コモンズを生きる個体であること浮きかき上げている。

西ヨーロッパで中高生の授業ポイントから高揚したことに触発されて、マイカーや飛行機による移動を制限するといった、自分たちの暮らし方を変えようとする運動から環境問題への取り組みをスタートさせた。

さらに、環境危機が地域・社会階層・世代ごとに不均等な影響を及ぼしていることを知り、その見えない関係を見えるようにしようとする気候正義のNGOの運動に飛び込む。そしてこの取組みで知り合ったベルギー人のパートナーと移住し、移民として、子育てする女性として、暮らしていく。そこで水泳の正義運動を担うトランスナショナル研究所のNGOスタッフとして働く。

二〇〇八年に住宅価格が急上昇するなかで高価な住宅をローンで購入して生じる債務負担になることに疑念を感じた岸本は、家賃の安いブリュッセルに移住し、在米しながらオンラインでNGOの業務を続けることで、水道の再公有化の動きを追跡する。

二〇〇八年に住宅価格が急上昇するなかで高価な住宅をローンで購入して生じる債務負担になることに疑念を感じた岸本は、家賃の安いブリュッセルに移住し、在米しながらオンラインでNGOの業務を続けることで、水道の再公有化の動きを追跡する。

## 都市コモンズを組織する個人の対抗的な生き方

「クリエティブ資本論」で語られる個人の生活は、都市住民の創造力が集積するメカニズムが都市住民の協働的関係を豊かに育てるためのもの。ひとつの起業家精神を発生させる私的所有的と、置かれていく機械・技術・知識・情報・資源・労働

調査するNGOの仕事にかかり、その調査を踏まえて、水安人権あり公共財であるという視点からの政策提言を作成し、その提言をネットワーク化する。

岸本にとって、都市とは、企業が公共財を囲い込み私益の手段とする投資空間であると同時に、都市住民がそれに抗して住民主権と公共正義を追求する共同の空間であり、市場取引における自由と平等という市場の理性の理念と、自然の生態系を協働の富として組織する都市的理性の理念とが相争う社会闘争の戦場である。そして岸本個人は、後者の都市的理性を生きる社会的個体として生きていることが本書全体を通じて語られる。

岸本のこの書では、各省のタイトルにすべて、東京・アムステルダム・ブリュッセルという都市の名前が記され、自己が女性として、移民として、子育てしつつ社会活動に取り組みその個体の生き方が都市コモンズを生きる生であることが浮き彫りにされる。

文化コモンズが個人によって開拓された、と説く佐々木秀彦「文化的コモンズ」は、博物館という文化的コモンズによって生み出されたことを強調する。医療・教育・福祉・環境・文化などの社会的サービス事業としておこなうソーシャル・アントレナラーと同様に、公共の博物館も自分が自分の身銭を切って公共事業を起こすことによって発展した。ハンススローンコレクションが、大英博物館、松

といった社会的富を共有物として共同で管理することによって、社会的協働の生産性（ネグリ・アハートM2011）を高める精神がそれである。

ネグリ・アハートMはこれを「マルチチュードの起業家精神」（同書第9章を参照）と呼ぶ。マルチチュードとは、社会的富を協働で管理運営する多様な方法を考案し実践する社会的主体にほかならない。

「クリエティブ都市論」の私的個体は、自己の身体能力を高めるために才能が集積するメカニズムに移動・定住し、そこで自己の能力を開発してコモンズを生きる。この能力を外部に開いて、コモンズを生きる。この能力を開発してコモンズを生きる。この能力を開発してコモンズを生きる。

「クリエティブ都市論」の私的個体は、自己の身体能力を高めるために才能が集積するメカニズムに移動・定住し、そこで自己の能力を開発してコモンズを生きる。この能力を外部に開いて、コモンズを生きる。この能力を開発してコモンズを生きる。

## 都市コモンズを生きる社会的個体は、私的所有的もとの能力主義にもとづく自立した強い個人ではない

都市コモンズを生きる社会的個体は、私的所有的もとの能力主義にもとづく自立した強い個人ではない。社会諸関係から分断され、社会を喪失したむき出しの裸の個人に向かかって自衛せよ、強くなれ、と極端な生存競争を強いる社会の崩壊状態をさらに深刻なものにしているのだから。ネグリ・アハートM2011は、その逆を以て、個人は傷つきやすく、脆弱な存在であり、その個人は協働を通じて、企業を担う個体として、自己の安定した状況を手に入れることができる、と説く。

「クリエティブ都市論」の私的個体は、自己の身体能力を高めるために才能が集積するメカニズムに移動・定住し、そこで自己の能力を開発してコモンズを生きる。この能力を外部に開いて、コモンズを生きる。この能力を開発してコモンズを生きる。

より自らを「都市コモンズ」の主人公たるべく声を挙げ、遂には軍部クーデターを無血阻止した韓国民衆に学ぶ時



参考文献  
岸本聡子「2025」『私がかんたコン』民主主義 最文社  
フロリダ R「2008」『クリエティブ都市論』井口典訳、ダイヤモンド社  
佐々木秀彦「2024」『文化的コモンズ』みすず書房  
鈴木大祐「2024」『開拓する日本の公教育』集英社新書

（終）

